

8月22日(月)

目をさましてなさい

聖書朗読 黙示 3：1～6

身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを探し求めながら、歩き回っています。

I ペテロ 5：8

「寝ないで起きていることは報われる」と、ケビン・コールマンは学びました。彼はミネソタ州ミシガン市で逮捕され刑務所の中で被告召喚状を待つ身でした。彼は別の囚人が保釈されようとした時、その人が居眠りをしているのに気づき、その囚人の場所を分捕り座っていました。そして自由の身として釈放されたのです。役人は間違いに気づき彼を再び捕まえました。コールマンにとっては目をさましていたおかげで、ほんのひと時でも自由の身になれたのです。

サルデスの町には高い要塞が築かれていました。要塞を囲む険しい絶壁は町を事実上難攻不落にするものでした。しかし数年間で3回もその要塞が突破されました。いつも敵は見張り番が居眠りをしている時に攻めてきたのです。イエスは要塞の歴史を彼らに思い起こさせ、目をさましてるようにと言われました。

イエスの「目をさましていなさい」と言う御言葉は今日でも教訓になります。あなたのガードを降ろしてはいけません。サタンはあなたが居眠りをしているのを喜びとしています。常に注意深く、常に準備をして、目をさましていきましょう。

聖歌 216

祈り 天のお父様。私たちはいつも注意深く、敵が来る事に備えていたいのです。どうか私たちに注意深さと冷静な心を持つことが出来るようにしてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ティムシー・アーチャー
テキサス州 アビリン

今日の力

2016年8月22日～8月28日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月23日(火)

羽を持ったもの

聖書朗読 黙示 4:1~11

その後、私は見た。見よ。天に一つの開いた門があった。 黙示 4:1

マサチューセッツ州のアマーストで隠遁生活をしていた詩人のエミリー・ディッキンソンは希望について次の有名な詩を書き残しています。

希望は、羽をもつものです。
それは魂にとまります。
そして、言葉のない曲を歌います。
そして決して停止しない——まったく——

ヨハネが見たものは、鳥ではなく開いた門でした。しかしディッキンソンの鳥がただの鳥ではないように、ヨハネの門もただの門ではありません。それはただ一つ天に開かれた門でした。

天国にあるすべてのものはその門を通して招かれます。そして、それはこの宇宙を支配している御座の上で起こっている事を内側から見る事が出来るのです。ヨハネは私たちの天国についての疑念を払うために、私たちを連れて行き、そこで何が起こるかを示しました。

開かれた門は希望の門です。それは、ローマ帝国やドミティアヌス皇帝が及ぼした迫害の時代を生き延びたヨハネの読者が理解すべきものでした。その希望の門は現代の私たちが理解すべきものと共通しています。その希望の門に踏み入れると、私たちの為に死んでそして生命を与えて下さった人のゆえに、心が安らぎ、生活の足元がしっかりし、より充実した豊かな生活が保障されます。

讃美歌 第二編 180

祈り 天のお父様。あなたを理解すればするほど明るい希望が生まれてきます。あなたの栄光を見ることが出来るように私たちの心の目を開いてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ブルース・グリーン
アラバマ州 オペリカ

8月24日(水)

不思議な相続

聖書朗読 黙示 21:1~7

神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持つようになしてくださいました。また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。 Iペテロ 1:3~4

人々は身内の者が死にその財産を受け継ぎ、それをどのようにしていいのかわからない時があります。故人の所有物を調べている時に、それが既によく知っている物であったり、開けてびっくりというものであったりします。

ある時、テレビで「奇妙な相続品」という放送をしていました。その中の価値あるコレクションでは、今まで発見されていない一見真新し野球カードや漫画本から古い映画館や戦車にいたるまでありました。

私たちキリスト者にはお金では買えない不思議な相続が与えられています。世俗的な考えでは、私たちの相続は実際に目に見えるものではないので奇妙に響きます。しかし聖書によると、相続したものは決して滅びる事はありません。一方この世で相続したものは、興味があっても滅ぶということです。テレビ放送の最後の場面でのコメントで思い出しました。「それはあの世へ持っていけません」。

讃美歌 第二編 43

祈り 全知全能の神様。あなたを褒め称えます。また私たちの言葉と行動を通してあなたのお名前を賛美します。あなたの救いの計画は私たちの目には素晴らしいものです。

イエス様の御名を通して。アーメン。

カロライン・イェイツ
ノースカロライナ州 ラーリー

8月25日(木)

確 信 を 持 っ て

聖書朗読 黙示 22:6~11

私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、・・・私たちを引き離すことはできません。 ローマ 8:38~39

パウロは確信していました。ヨハネも確信していました。そして私も確信しています。もし誰かの心の内に神様の愛について疑いがあれば、この確信はこれらの疑いを払しょくする事でしょう。神様の愛に対する確信は、神の子である私たちへの最大の祝福です。失業や病気により人生がどんなにつらくても神様の愛は信頼できるものです。神様は私たちの事情を理解され愛を注いで下さいます。

私たちの存在は、偉大な神様にとって、重大な関心事では無いと考えてはいけません。神様は、いかに重大な不幸が私たち降りかかってきたときでも、見捨ててその霊を引き上げたことがありますか。決してそのようなことはいたしません。

神様は本来私たちに確信を植え付けてくださるお方なのです。

讃美歌 第二編 93

祈り 主よ。あなたの大きな愛に感謝します。私にはあなたが必要です。私たち皆をお守りください。私の今後の歩みに確信が持てるように心と霊を授けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ジョージ・F・ドーアティー
テキサス州 タイラー

8月26日(金)

立ちあがってほめたたえよ

聖書朗読 ネヘミヤ 9:5~15

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。

Iペテロ 1:3

立ち上がる。チームが選手権試合で点を入れた時にする動作です。イスラエル人は、神様を褒め称えるために立ち上がりました。親類や友人全員で。荒れ果てた町で立ち上がりました。

彼らは、断食をし、荒布を着け、土をかぶって自分たちと先祖の咎を告白しました。今まさに赦されて悲しみは終わり喜びが始まろうとしていました。彼らは神様の恵みに応えたかったのです。

彼らは、リーダー達が「あなたの栄光の御名はほむべきかな」と大声で叫んでいるのを、確かに注意して聞いていました。そしてお互いこうなずき「アーメン」と言いました。そして彼らが「あなただけが主です」と言うのを聞いた時、「そうだそうだ」と呼応しました。そして更にリーダー達は、「あなたはすべてに生命をお与えになりました」と加えました。一人の母親も3歳の子どもにキスをしながら、「その通り」と応じました。またリーダー達は「あなたは正しいお方ですから約束を守られました」と言いました。恥ずべき囚われの身として過ごしてきた80歳の老人が、喜びを分かち合いながらその息子に、「私は神様の約束が実現するのを体験した」と言いました。

神様は約束を果たされたと思いますか？ 立ち上がりましょう。そして、約束を果たされたと告白いたしましょう。

讃美歌 79

祈り 天のお父様。あなた様はアブラムと私たちをお選びになり、あなたの哀れみと守りの喜びの中で私たちは立っています。私たちにはあなただけが主であり、贖い主であり、希望です。

イエス様の御名を通して。アーメン。

エミリー・Y・レムレー
編集者

8月27日(土)

服従を通して得た力

聖書朗読 マルコ 1:9~15

わたしは、自分からは何事も行うことができません。ただ聞くとおりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。・・・わたしを遣わしたお方のみこころを求めるからです。

ヨハネ 5:30

マルコの福音書でイエスの最初の登場は、いとこのヨハネからバプテスマを授かる所です。その際、他の福音書で、主は『すべての正しいことを実行するためです。』(マタイ3:15)と言われました。主イエスの目的は神様の意思を実行する事で、神様もはっきりとイエスの服従を許可し、見える形で聖霊を降ろされ、主イエスには父なる神の許可を意味する言葉が聞こえました。

それから、イエスは御霊により試みの荒野に追いやられました。マルコは述べていませんが、私たちはサタンがしようとした事とイエスが神様への服従により罠にかかるのを避けようとしたことを知っています。イエスはサタンの誘惑に自分の考えではなく、神様の言葉により答えられたのです。(マタイ4:1~11)

今や、正しい事を実行するための条件が満たされました。そしてイエスの服従が正しいことが実証されたのです。それ故、イエスは天国(神様の支配する国)を賞賛し、悔い改めを求めました。

私たちが天国を賞賛し、他人に悔い改めを呼びかける事ができます。しかしそれは自分の達成したことからではなく、神様の支配にゆだねる事で出来るのです。

聖歌 608

祈り 天のお父様。私がおあなたに服従している事を、ほかの人にできる限り伝える事が出来ますように助けて下さい。

イエス様の御名を通して。アーメン。

スティーブン・S・レムレー
編集者

8月28日(日)

私たちの喜びは主の喜び

聖書朗読 創世記 2:8~14

あなたは御手を開き、すべての生けるものの願いを満たされます。

詩編 145:13

エデンの園は神様の愛がぜいたくに示された描写です。そのように神様が私たちに与えるものには限度がありません。私たちが喜ぶ事は神様の喜びです。一部の人の中には神様は喜びなど与える人ではないと意地悪い間違ったイメージをもっている人もいます。聖書に描かれている神様はそうではなく、純粋な満足と喜びを与えてくださいます(イザヤ55:1~2)。

まわりを見渡して神様の満ち溢れる愛を見てみましょう。私たちが見たり数えたり出来る星は、100光年までの星で、実際には、大空はそれ以上の多くの星で満ち溢れています。惑星には、壮大な山脈の美しさから複雑な形をしたチョウの羽、熱帯の森の中で一日で咲いては死ぬ花たちもあります。

そして神様の満ち溢れる愛は私たちの宇宙に限定されていません。何故なら私たちにこの溢れる恵みは天の広がりを持つほどに大いなるものだからです(エペソ1:3,7)。

私たちはエデンの園について聞いています。またこの世に於いて神様が私たちに喜びを与える能力のあるというヒントもあります。天国では私たちの喜びや神様の喜びが無限であることを考えると、わくわくするではありませんか。

讚美歌 197

祈り 天のお父様。何と惜しみなく愛を注ぐ神様でしょう。あなたが惜しみなく与える恵みの大きさには、きまりが悪いのです。私たちが謙虚にしつつも感謝できるよう、そして私たちの心がおあなたの与えたいという気持ち受け入れる事が出来ますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

デビット・ラングフォード
テキサス州 ラボック